

7 がんセンター



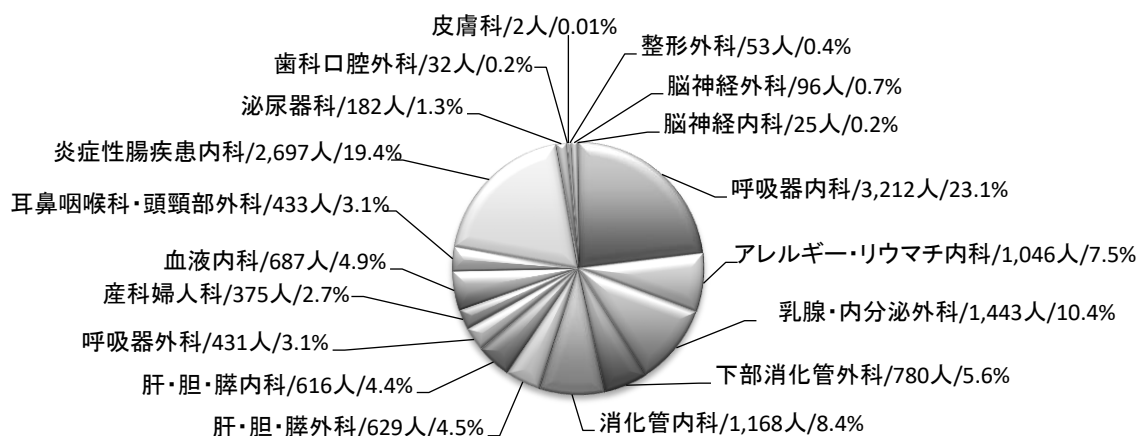
がんセンターの主な役割は、地域がん診療連携拠点病院の要件充足に向けた活動とがん相談支援センターにおけるがん診療に関わる支援、及び外来化学療法室の効率的な運営である。2015年度からはレミケードなどの生物学的製剤投与の患者さんを積極的に受け入れ、さらに2015年度から整形外科、2016年度から脳神経内科の利用者が加わり、外来化学療法室利用者数は2016年度の8,959件、2017年度10,755件、2018年度12,304件、2019年度13,907件と年々増加傾向にある。診療科別では、呼吸器内科、炎症性腸疾患内科、乳腺・内分泌外科、消化管内科、アレルギー・リウマチ内科、下部消化管外科の比率が多い傾向にあったが、今年度も多くの診療科において前年度に比べて利用者数の増加がみられた。また外来化学療法室の効率的な運用のために、2016年度からは外来化学療法利用者会議を毎月1回開催し、外来化学療法室を利用する全診療科で情報の共有を行い、柔軟に利用枠の変更・拡充を行いながら効率よい病床運営に務めている。また同時にレジメン審査委員会も開催し、エビデンスに基づいた迅速かつ適切なレジメン審査を行い安全で有効性の高い治療を提供するとともに、同じレジメンを複数科で利用する場合の統一化も行い、調剤業務などの業務効率化も行っている。さらには、2019年度にがん遺伝子パネル検査が保険適応となり、当院が「がんゲノム医療拠点病院」に指定されたため、積極的にがん遺伝子パネル検査を実施し、がんセンターとして院内でエキスパートパネルを開催することで速やかに最適な治療方針の提案をしている。

院内のがん診療に対する啓蒙活動として、医師やメディカルスタッフを対象に年間を通してがんセンター主催の講演会や勉強会を開催している。がん相談支援センター・がん診療支援室では、がん患者さんやそのご家族からの医療や生活に関するご相談に対して専門の看護師やソーシャルワーカーが、対面相談を年間1,200件以上、電話相談を年間400件以上対応し、がん診療のサポートを行っている。

7-1 年度別外来化学療法室利用者数 (人)

区 分	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2019年度 構成比率(%)
血 液 内 科	267	341	465	657	687	4.9
アレルギー・リウマチ内科	1,111	1,158	1,092	1,007	1,046	7.5
肝・胆・膵内科	235	268	447	406	616	4.4
呼 吸 器 内 科	1,339	1,798	2,094	2,632	3,212	23.1
消 化 管 内 科	946	954	1,165	1,187	1,168	8.4
炎 症 性 腸 疾 患 内 科	994	1,454	1,945	2,380	2,697	19.4
脳 神 経 内 科	-	23	27	33	25	0.2
肝・胆・膵外科	569	344	434	378	629	4.5
上 部 消 化 管 外 科			2			
下 部 消 化 管 外 科	720	676	744	762	780	5.6
乳 腺 ・ 内 分 泌 外 科	969	1,052	1,354	1,529	1,443	10.4
呼 吸 器 外 科	193	303	307	384	431	3.1
整 形 外 科	44	47	44	68	53	0.4
脳 神 経 外 科	40	81	36	65	96	0.7
皮 膚 科			22	11	2	0.01
泌 尿 器 科	21	55	56	152	182	1.3
産 科 婦 人 科	156	205	326	350	375	2.7
耳 鼻 咽 喉 科 ・ 頭 頸 部 外 科	165	150	178	282	433	3.1
歯 科 口 腔 外 科	51	50	17	21	32	0.2
合 計	7,820	8,959	10,755	12,304	13,907	100.0

7-2 2019年度診療科別外来化学療法室利用者の構成比率 (人) (合計13,907人)



7-3 年度別がん相談支援センターがん診療支援室の相談件数 (件)

区 分	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2019年度 構成比率(%)
対 面 相 談	913	1,254	1,254	1,185	1,289	74.9
電 話 相 談	521	637	639	814	432	25.1
合 計	1,434	1,891	1,893	1,999	1,721	100.0